

ためる対策

3.2) ため池等治水対策の推進

3.2) 1 大和川流域整備計画で定められた最小必要量(ため池等治水対策)

資料3-2

◆ 流域整備計画では、奈良県と市町村をあわせて約180万 m^3 の貯留対策に取り組むことになっている。(最小必要量)



奈良県と市町村の流域対策の最小必要量

機 関 名	雨水貯留浸透 施設対策量 (m^3)	ため池治水 利用対策量 (m^3)	機 関 名	雨水貯留浸透 施設対策量 (m^3)	ため池治水 利用対策量 (m^3)
奈 良 市	14,610	310,500	斑 鳩 町	1,630	29,700
大 和 高 田 市	3,790	18,300	安 堵 町	540	9,400
大 和 郡 山 市	5,410	71,700	川 西 町	810	6,700
天 理 市	3,520	65,700	三 宅 町	270	3,000
橿 原 市	6,770	40,200	田 原 本 町	2,440	29,700
桜 井 市	5,140	30,300	高 取 町	1,080	18,900
御 所 市	4,060	48,900	明 日 香 村	540	15,900
生 駒 市	5,410	62,700	上 牧 町	1,350	21,600
香 芝 市	2,710	55,300	王 寺 町	1,350	21,600
葛 城 市	1,890	40,000	広 陵 町	1,900	32,400
平 群 町	1,350	20,700	河 合 町	1,350	19,500
三 郷 町	1,080	25,800	大 淀 町	-	1,500
			小 計	69,000	1,000,000
			奈 良 県	50,000	700,000
			合 計	119,000	1,700,000

合計 181.9万 m^3

附則1 今後早急に検討するものについては、成案が出来次第、
 実施要領の変更により、具体的内容を組み込むものとす
 る。

【 大和川流域整備計画実施要領を一部改変して引用 】

3.2) 2 進捗状況 (令和7年3月末時点)

資料3-2

- ◆ 奈良市、大和郡山市、葛城市、平群町、明日香村が新たに「雨水貯留浸透施設」や「ため池治水」などの「貯める対策」を実施
- ◆ その結果、**市町村全体の対策率は昨年度と比べて81%から84%に増加**
- ◆ 一方、対策率が伸び悩む市町もあり、浸水被害の軽減に向けて**引き続き貯める対策の推進**が必要

	最小必要量(m³) A	ため池治水+雨水貯留+水田貯留 令和6年3月末		ため池治水+雨水貯留+水田貯留 令和7年3月末		令和6年度 対策量(m³) E
		対策済量(m³) B	対策率(%) (B/A*100)	対策済量(m³) C(=B+D+E)	対策率(%) (C/A*100)	
奈良市	325,110	110,594	34.0%	114,194	35.1%	3,600
大和高田市	22,090	27,812	125.9%	27,812	125.9%	0
大和郡山市	77,110	61,130	79.3%	63,001	81.7%	1,871
天理市	69,220	46,575	67.3%	46,575	67.3%	0
橿原市	46,970	54,294	115.6%	54,294	115.6%	0
桜井市	35,440	16,444	46.4%	16,444	46.4%	0
御所市	52,960	32,810	62.0%	32,810	62.0%	0
生駒市	68,110	71,768	105.4%	71,768	105.4%	0
香芝市	58,010	38,607	66.6%	38,607	66.6%	0
葛城市	41,890	61,977	148.0%	73,407	175.2%	11,430
平群町	22,050	42,029	190.6%	46,279	209.9%	4,250
三郷町	26,880	46,396	172.6%	46,396	172.6%	0
斑鳩町	31,330	27,689	88.4%	27,689	88.4%	0
安堵町	9,940	37,076	373.0%	37,076	373.0%	0
川西町	7,510	8,458	112.6%	8,458	112.6%	0
三宅町	3,270	7,520	230.0%	7,520	230.0%	0
田原本町	32,140	44,810	139.4%	44,810	139.4%	0
高取町	19,980	15,216	76.2%	15,216	76.2%	0
明日香村	16,440	16,423	99.9%	25,543	155.4%	9,120
上牧町	22,950	20,024	87.3%	20,024	87.3%	0
王寺町	22,950	23,814	103.8%	23,814	103.8%	0
広陵町	34,300	20,466	59.7%	20,466	59.7%	0
河合町	20,850	25,610	122.8%	25,610	122.8%	0
大淀町	1,500	6,000	400.0%	6,000	400.0%	0
市町村小計	1,069,000	863,542	80.8%	893,813	83.6%	30,271
奈良県	750,000	947,893	126.4%	947,893	126.4%	0
合計	1,819,000	1,811,435	99.6%	1,841,706	101.2%	30,271

取組状況(R6.3時点)			取組状況(R7.3時点)		
ため池 治水利用	雨水貯留 浸透施設	水田貯留	ため池 治水利用	雨水貯留 浸透施設	水田貯留
検討中	検討中	予定なし	実施中	検討中	予定なし
予定なし	実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし
実施中	検討中	実施中	検討予定	検討中	実施中
実施中	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	検討中
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
予定なし	検討中	予定なし	予定なし	検討中	予定なし
検討予定	検討予定	予定なし	検討予定	検討予定	予定なし
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
検討中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
予定なし	検討予定	予定なし	予定なし	検討予定	予定なし
予定なし	実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし
予定なし	実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし
検討予定	予定なし	検討予定	検討予定	予定なし	検討予定
検討予定	予定なし	予定なし	検討予定	予定なし	予定なし
検討中	検討予定	予定なし	実施中	実施中	予定なし
実施中	実施中	検討予定	実施中	実施中	検討予定
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
実施中	予定なし	予定なし	検討予定	予定なし	予定なし
実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
予定なし	検討中	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
予定なし	実施中	実施中	予定なし	実施中	実施中
予定なし	実施中	検討予定	予定なし	実施中	検討予定
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし

凡例(ため池+雨水貯留+水田)

50%未満
50%~75%未満
75%~100%未満
100%以上

凡例(取組状況)

予定なし	当面、検討の予定がないもの
検討予定	具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの
検討中	具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの
実施中	工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)
	対策率100%を超えている場合
	事業完了や方針変更により取組状況に変化があったもの
	状況が次の段階に進んだもの



余水吐の改良(R6年度施工)

3.2) 3 ため池を治水活用した効果

資料3-2

(1) ため池の治水活用

- 利水者（農家）の協力を得て、ため池の利水容量の一部を治水容量に転換
- ため池の放流口を小さくする（オリフィスの設置や余水吐の改良等）ことで、ため池の上流域に降った雨水を「ため池」に一時貯留し流出量を低減させ、下流河川や水路の氾濫を抑制



オリフィスの設置



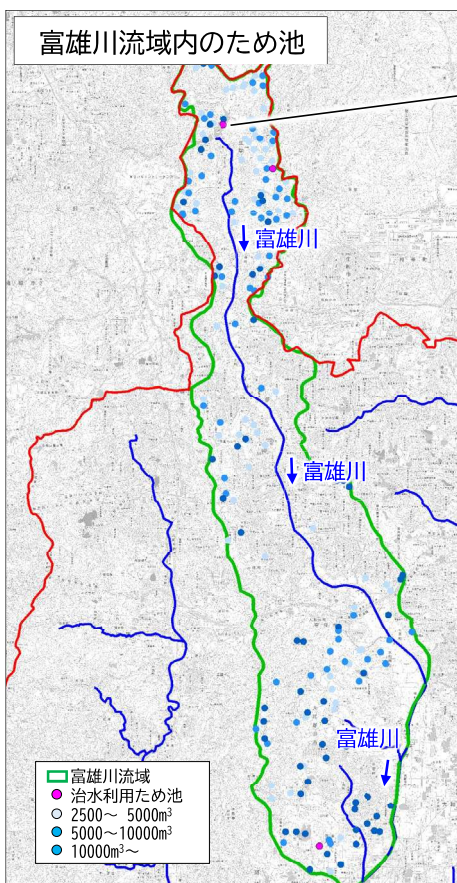
余水吐の改良

(2) 高山ため池の治水効果（生駒市）

整備効果

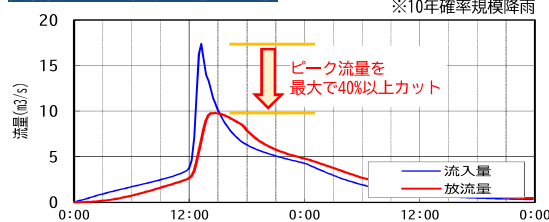
10年確率規模の降雨（県の河川整備の基準となる降雨）に対し、ため池の治水活用により、1級河川**富雄川**への**流入量を最大約40%カット**

富雄川流域内のため池



洪水調節容量:45,000m³

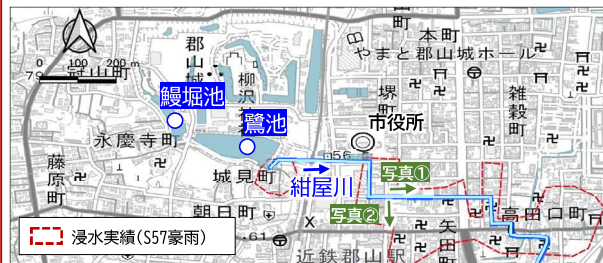
高山ため池 洪水調節の効果



(3) 鰻堀池・鷺池の治水効果（大和郡山市）

整備効果

ため池の治水活用より**ピーク流量を最大約60%カット**。さらに、雨水管整備も行うことで、下流の準用河川**紺屋川**を拡幅することなく**大和川大水害規模（S57.8豪雨）の降雨**に対して、**紺屋川周辺の浸水被害を解消**



S57.8豪雨と同じ規模の雨が降っても・・・



S57.8大和川大水害



写真①

写真②

写真③

- 準用河川 紺屋川は川幅が狭く、氾濫すると大規模な浸水被害につながっていた
- しかし、町中を流れ、歴史的な価値もあるため、改修（拡幅）は困難

- ため池の治水活用（県・市）
- 雨水管の整備（市）

S57豪雨と同等規模降雨に対し、浸水被害を解消

鰻堀池 洪水調節の概要

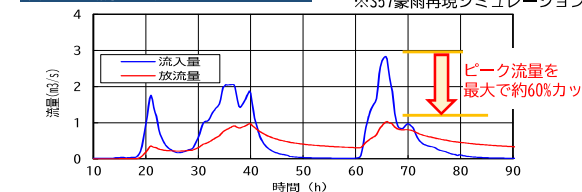


洪水調節容量:15,800m³（大和郡山市）



洪水調節容量:8,920m³（奈良県）

鰻堀池・鷺池 洪水調節の効果



3.2) 4 ため池治水等の推進

資料3-2

課題

①気候変動リスク

気候変動の影響により、今後、流量が約1.2倍になるリスクが報告されている

気候変動 シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模(1/100等))	
2℃上昇相当	約1.1倍	
降雨量が約1.1倍となった場合		
全国の平均的な 傾向【試算結果】	流量	洪水発生頻度
	約1.2倍	約2倍

※国土交通省HPより

②自然的条件

亀の瀬をかかえる大和川では、河川で洪水を流すことができる量に限界がある



ため池治水対策等の推進

- 亀の瀬をかかえる大和川流域は「ながす対策」には限界があり、多発する内水被害や気候変動リスク等に対処していくためには、これまで以上に「ための対策」を進めていく必要



大和川流域では毎年のように各地で内水氾濫が発生。H29.10豪雨では内水氾濫により400戸以上の家屋が浸水



直轄事業(遊水地整備や河道掘削、築堤)により同規模の雨に対し洪水を安全に流すことが可能になるが、大和川に余裕が生じるわけではない

河川や水路に流れる洪水の量を減らす必要

「ため池」を活用した「ための対策」は有効な手段の1つ

治水部局

連携

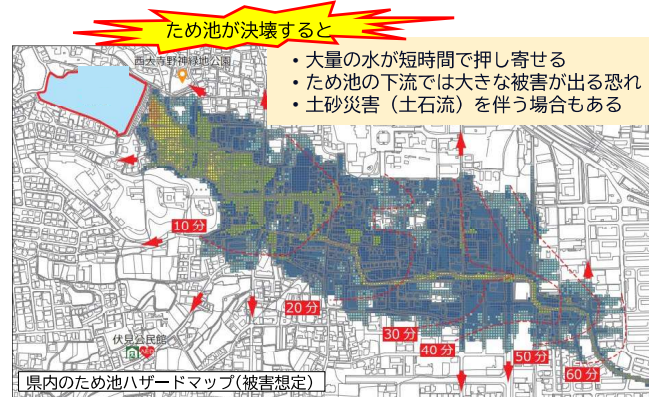
農部局

今後の方針(案)

防災重点農業用ため池など、ため池改修を行う場合には「ため池の治水活用」を行うことについて地元と調整する

防災重点農業用ため池の改修(農部局)

- ため池が決壊すると下流に大きな被害が出る恐れ(平成30年の西日本豪雨などでは、ため池の決壊により多数の死傷者)
- 県では、決壊した場合に人的被害を与える恐れのある「防災重点農業用ため池」を964池指定
- 対策を講じるべき「ため池」は全体の1割程度※の見込み(調査中)
※低水位管理等のソフト対策を含む



防災重点農業用ため池:
決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与える恐れのあると判断された「ため池」



広島県 西日本豪雨(H30.6)における被災状況(資料:農林水産省)